

ラン Ranun 平林 久美さん

出産や育児を経験し、家でできる“好きなこと”を仕事にしたいと2022年11月に開業届を提出。“何”を仕事にできるか模索する日々を経て“編み物”にたどり着く。ももとの器用さを武器に極細の3mmのかぎ針で刺繍糸を編んだアクセサリーや、まあいい顔と表情がかわいらしい動物たちの編みぐるみがマルシェなどで人気となっている。

勢いで出した開業届だったけど、ビジネスを学びながら徐々に目標が定まり、好きなことで稼げる幸せを実感しています

起業までの道のり

元々は保育園に勤めていましたが出産や育児との両立が難しく、末っ子の出産とともに退職を決めました。退職する際に、家で好きなことが仕事になったらいいなと思い、勢いで開業届を出してしまいました。自分は専業主婦には向いていないと思っていたので、その時はただ「何か」をやろうと。開業届を出してしまえば途中で辞めないうらうと考え、次の日には事業用の銀行口座まで作っていました。今思えばあの時に出していなかったら、現在の自分はいなかったでしょう。

そしてその直後に最初の女性起業講座(基礎編)を受講して、「何か」とは何か？を考え始めました。元々細かいことが好きで手先が器用でした。消しゴムハンコ、刺繍、編み物…いろいろ好きなことがあって、何を仕事にしようか選びきれません。いくつかの候補の中から、いちばん長く楽しく続けられるものを選んだ結果、「編み物」に決めて、2023年にチャレンジマルシェで初めて出店しました。我が子に編んで喜んでもらえた手編みのヘアゴムやお揃いのモチーフのピアスを販売しました。本や



YouTubeを参考にしてあまり大きな苦労なく制作したものが多く、こんなに簡単なら誰でも作れるから買う人なんていないだろうと思い、常に自信がありませんでした。でもチャレンジマルシェに出てみたら想像以上に手に取ってもらうことができてとてもびっくりしました。そこでもう一度学びたくて、改めて基礎編を受講しました。1回目の時にはまだ何をやるかも決まっていなくて、先生の話も理解できませんでした。2回目ではちょっと理解できました。その後さらにブラッシュアップセミナーで専門家の意見を聞き、今年はもっと深めたくて「ふじえだ女性ビジネスアカデミー(以下、アカデミー)」を受講しました。

起業で大変だったこと

好きなことがありすぎて、「何を」仕事にするかという選定も課題だったし、何度勉強しても自分の「強み」が分からないことが一番の課題でした。100円とか200円だったら手に取ってくれるかなと、初めは薄利多売を考えました。でもいろいろなアドバイスをもらううちに、がんばって300円でチャレンジマルシェに出してみたところ売れました。マルシェの後のブラッシュアップセミナーでは、もっと価格を上げていいと言われて商品づくりを頑張ったかったけれど、その頃は育児とパートで手いっぱい制作時間が思うようにとれず落ち込みました。

そんな中で今年受講したアカデミーで言われた「あなたの事業は作らなきゃ売れないんだよ」という言葉が転機になりました。「たくさん作ってもどうせ売れない」と予防線を張って逃げている自分に気づいてからは、暇さえあれば作るようになりました。まずは作って、そして売ってみて、やっと売れるかどうかなんです。そこが分かっていたようで分かっていたことがなかったことに気づかせてもらいました。

起業してよかったこと

子どもに寄り添ってあげたいという思いは、起業したから叶ったかなと感じます。子どもの都合で長期間休むことになっても、申し訳ないと思わずに頭を下げることなく「ゆっくり休みなさい」と言ってあげられます。ただ子育てだけに時間を費やすのではなく、ずっと自分の好きなことをしていられて、好きなことでお金がもらえるということも起業して良かったことです。編み物は種類によって使う力が違うので、今はかぎ針編みの休憩のために棒針編みをするなど、編み物の世界にどっぷりハマっています。

先日出店した産業祭では花のヘアゴムは650円、動物の編みぐるみキーホルダーは1,500円で販売しました。ヘアゴムには長く使えるような工夫をしています。手に取ったお母さん方からは、気に入って買ってもゴムの部分がダメになると捨てるしかなくて残念だったから、交換できるのはうれしいと喜ばれました。動物の編みぐるみキーホルダーも大人気で、1日目の出店が終わって家に帰ってから、翌日店頭に並べるために夜中にいくつも編んで補充しました。2日間の産業祭では売上目標も達成し、たくさんの人に「Ranun」を知ってもらうことができました。

これからの夢や目標

いろいろなセミナーを受講してネットワークが広がり、アカデミーの同期生とは定期的なプチマルシェも企画しています。あとは委託販売先も開拓しています。制作時間の確保が今も課題ですが、春には働き方を変えてもう少しペースが上げられそうです。子どもが大きくなって少し手が離れたら、編み物の先生をやりたいという想いもあります。編み物をやる人が少なくなってしまったけれど、こうやって作品を見せていくことで興味を持つ子どもたちがいると思うんです。マルシェなどに出ると「学生の時に習ったのよ」と声を掛けてくれるママたちがいて、今の子どもたちにもそういう経験をさせてあげたいです。

人気商品の動物の編みぐるみキーホルダーはいろいろ



な動物をモチーフにしていますが、もっと種類を増やしていきたいです。その人が飼っているペットに似せた編みぐるみキーホルダーが作れたら、喜んでもらえて面白いかと思います。今年はまだ決断できずでしたが、今後は積極的に規模の大きなイベントにも出ていきたいです。

エフドアをこれから利用する人へ

初めて利用した時は、聞きたいこともちゃんと決まっていなかったのに行っていいのかなと怖かったです。売り方は全く分からないし、自信もないし、強みもないし、私はどうしたらいいのでしょうかという状況でした。それなのにすごく優しく、なんだか家族のように理解してくれている気がしました。受講を始めてもらったアカデミーの発表資料作りとイベント用の商品作りが重なって時間がない中であたふたしましたが、一番きつところを乗り越えられたので自信につながりました。

周りにはエフドアで厳しいことを言われたという人もいました。でも厳しいということはそれだけ親身になってくれているということだと私は思います。もともと何で悩んでいるのかさえわからなかった状態でブラッシュアップセミナーの前に相談に行きましたが、厳しくなかったし逆に優しく泣きました。1人で悩んでいるのなら「エフドアに行って」と言いたいです。



ラン Ranun

住所 藤枝市五十海

Instagram <https://www.instagram.com/ranun.0808/>

